

令和4年2月4日

予算の特徴

未来の飛躍を約束する予算

◎令和4年度当初予算の戦略的重点事業

I. 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ワクチン接種、感染対策及び生活支援など、機動的かつ迅速に対策を講じていく

II. 総合計画を推進するための「3本の柱」

① 市民の皆様の命を守るための「防災力の強化」

- ・消防本部機能の高台移転 ・避難対策の推進 ・国土強靱化の推進 など

② 時代に対応したサービスを市民の皆様へ提供するための「スマート自治体への転換」

- ・行政事務・窓口サービス等のデジタル化 ・自動運転、MaaS など

③ 持続可能なまちを創造していくための「安定した財政基盤の確立」

- ・大山田PAのスマートインターチェンジ化 ・企業誘致の推進 など

III. 「重点プロジェクト」の推進

- ・桑名駅周辺施設整備 ・多度地区小中一貫校整備 ・地域コミュニティ推進 など

IV. 「誰一人取り残さない」まちへ

- ・SDGsの理念 持続可能な社会の実現

V. ゼロカーボンシティの実現に向けて

- ・市役所本庁舎に再生可能エネルギーの導入
- ・公用車の次世代自動車への転換
- ・オンサイトPPAを活用した公共施設への電力供給
- ・太陽光発電設備等共同購入事業 など

予算の規模

- ◆ 令和4年度 一般会計当初予算 526.7億円
(令和3年度対比 6.5億円、1.2%の【増】)

当初予算規模の推移

(単位：千円)

当初予算	H30	R1	R2	R3	R4
予算額	51,845,011	50,617,193	50,815,449	52,027,111	52,674,172
増減率	▲2.0%	▲2.4%	0.4%	2.4%	1.2%

市税の状況

- ◆ 市税収入は、前年度対比で 12.8億円、6.3%【増】の 216.0億円
 - ・ 市民税 99.2億円 (R3 90.7億円、9.4%)
 - 個人 89.5億円 (R3 83.5億円、7.1%)
 - 法人 9.7億円 (R3 7.1億円、35.8%)
 - ・ 固定資産税 94.4億円 (R3 90.3億円、4.5%)
 - 土地(現年) 32.0億円 (R3 32.2億円、▲0.8%)
 - 家屋(現年) 41.3億円 (R3 41.1億円、0.5%)
 - 償却(現年) 20.0億円 (R3 15.8億円、26.7%)

地方消費税交付金の状況

- ◆ 地方消費税交付金は、前年度対比で 0.8億円、2.9%【増】の 29.6億円

地方交付税及び臨時財政対策債の状況

- ◆ 地方交付税及び臨時財政対策債は、前年度対比で 18.7億円、36.1%【減】の 57.1億円
 - 地方交付税 + 臨時財政対策債
 - = 57.1億円 (R3 75.8億円、▲24.7%)
 - ・ 地方交付税 47.4億円 (R3 45.8億円、3.5%)
 - 普通交付税 39.8億円 (R3 37.8億円、5.3%)
 - 特別交付税 7.6億円 (R3 8.0億円、▲5.0%)
 - ・ 臨時財政対策債 9.7億円 (R3 30.0億円、▲67.7%)

繰入金の状況

- ◆ 繰入金は、前年度対比で 3.7 億円、13.9%【増】の 30.4 億円
 - ・ 財政調整基金繰入金 14.5 億円 (R3 11.8 億円、23.5%)
 - 令和 2 年度末 財政調整基金残高 決算 43.4 億円
 - 令和 3 年度末 財政調整基金残高見込み 46.1 億円

年度末財政調整基金残高の推移

	H30 決算	R1 決算	R2 決算	R3 決算見込み
年度末財政調整基金残高	42.2 億円	45.9 億円	43.4 億円	46.1 億円

市債の状況

- ◆ 市債は、前年度対比で 26.9 億円、42.2%【減】の 36.9 億円
 - ・ 臨時財政対策債 9.7 億円 (R3 30.0 億円、▲67.7%)
 - ・ 公共施設等適正管理推進事業債
 - 12.9 億円 (R3 18.8 億円、▲31.4%)
 - ・ 緊急防災・減災事業債 6.8 億円 (R3 0.6 億円、1,033.3%)
 - ・ 合併特例事業債 0.1 億円 (R3 10.3 億円、▲99.0%)

起債額の推移

	H30 当初	R1 当初	R2 当初	R3 当初	R4 当初
一般会計	59.1 億円	46.3 億円	43.0 億円	63.9 億円	36.9 億円
うち臨財債	18.0 億円	16.2 億円	17.2 億円	30.0 億円	9.7 億円

年度末市債残高の推移

	H30 決算	R1 決算	R2 決算	R3 決算見込み	R4 当初
一般会計	551.3 億円	545.9 億円	551.6 億円	546.8 億円	526.4 億円
うち臨財債	255.7 億円	253.1 億円	251.7 億円	258.1 億円	247.3 億円

義務的経費の状況

- ◆ 義務的経費は、前年度対比で 2.8 億円、1.0%【増】の 279.2 億円
 - ・ 人件費 100.1 億円 (R3 101.6 億円、▲1.5%)
 - ・ 扶助費 119.2 億円 (R3 115.8 億円、2.9%)
 - ・ 公債費 59.9 億円 (R3 59.0 億円、1.6%)

公債費の推移

当初予算	H30	R1	R2	R3	R4
一般会計	60.7 億円	61.9 億円	59.4 億円	59.0 億円	59.9 億円

投資的経費の状況

- ◆ 投資的経費は、前年度対比で 4.0 億円、7.8%【減】の 47.7 億円

投資的経費の推移 (下段は対前年度比)

当初予算	H30	R1	R2	R3	R4
一般会計	70.5 億円	60.4 億円	52.3 億円	51.7 億円	47.7 億円
	56.4%	▲14.3%	▲13.5%	▲1.1%	▲7.8%

その他の経費の状況

- ◆ その他経費は、前年度対比で 7.7 億円、4.0%【増】の 199.9 億円
 - ・ 物件費 82.4 億円 (R3 75.7 億円、9.0%)
 - ・ 維持補修費 4.5 億円 (R3 5.7 億円、▲21.6%)
 - ・ 補助費等 62.8 億円 (R3 57.6 億円、9.1%)
 - ・ 積立金 5.9 億円 (R3 5.9 億円、▲0.5%)
 - ・ 繰出金 43.3 億円 (R3 46.4 億円、▲6.6%)
 - ・ その他 (貸付金 0.6 億円、予備費 0.3 億円)

令和4年度当初予算主な事業

1 中央集権型から全員参加型の市政に

- ◆ **地域コミュニティ推進事業費** 【継続】 2,706万7千円 《総務費》
「市民の個性が活かせる地域コミュニティ」を確立するため、令和4年度から新たにまちづくり交付金を交付し、地域の特性に応じた活動が展開できるよう財政支援を行うなど、まちづくり協議会の形成に向けた取組を促進する。
- ◆ **ヴィレッジ公園管理運営費** 【新規】 1,419万5千円 《民生費》
令和4年4月から供用開始する予定のヴィレッジ公園を、敷地内に整備される多世代共生施設と連携し、一体的に運営することで、施設の利用者やその保護者、地域住民のつながりを促進する。

2 命を守ることが最優先

- ◆ **高齢者特殊詐欺被害防止対策費** 【新規】 179万6千円 《総務費》
特殊詐欺等による犯罪被害を未然に防止するため、特殊詐欺の被害に遭いやすい65歳以上の高齢者を対象に特殊詐欺等被害防止機器の貸し出し及び機器の購入に要した費用の一部を補助する。
- ◆ **高齢者運転免許証自主返納支援事業費** 【新規】 253万1千円 《総務費》
運転免許証を返納した方がサービスを受けるために必要な運転経歴証明書の交付手数料の1,100円の助成とK-バス回数券又は交通系ICカードの交付を実施し、高齢者の交通事故減少に寄与する。
- ◆ **新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費** 【継続】 1,440万6千円 《民生費》
緊急小口資金等の特例貸付について、総合支援資金の借入額が限度額に達している世帯、再貸付について不承認とされた世帯などを対象に「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を支給する。
- ◆ **福祉総合相談事業費** 【継続】 1,874万8千円 《民生費》
介護、子育てなど複雑化する福祉分野の相談に包括的に対応するため、桑名地区・多度地区・長島地区に設置した「福祉なんでも相談センター」において、必要な福祉サービスの紹介や関係機関との調整を行う。

- ◆ **若年性認知症支援推進事業費** 【新規】 100万円 《民生費》
 地域の介護サービス事業所における既存資源を活用し、若年性認知症の人とその家族に対する専門的な相談・助言等を日常的かつ継続的に行う支援拠点の整備を推進することで、若年性認知症の人やその家族の支援体制の充実を図る。

- ◆ **地域医療・介護総合確保基金事業補助金** 【継続】 4,870万2千円 《民生費》
 県の補助金である「地域医療・介護総合確保基金事業補助金」を活用し、地域密着型サービス事業所として選定された介護事業者に、施設開設に伴う整備費及び備品購入費、人件費等の補助金を交付して、介護基盤の整備を図る。

- ◆ **病院事業運営費負担金** 【継続】 8億464万1千円 《衛生費》
 地方独立行政法人である桑名市総合医療センターが実施する高度医療、救急医療、小児医療等の病院事業運営経費の一部について、設立団体である市が負担する。また、令和4年度は新型コロナウイルスに係る体制整備のために追加負担する。

- ◆ **新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業費** 【継続】 513万8千円 《衛生費》
 新型コロナウイルス感染症の陽性患者で自宅療養等を行う者に対して、必要な医療の提供体制を確保するため、自宅療養者等の自宅等に訪問看護を行った訪問看護事業者等を支援する。また、陽性となった自宅療養者及びその同居家族の生活を支援するため、食料品等の支援物資を提供する。

- ◆ **新型コロナウイルスワクチン接種事業費** 【継続】 6億609万3千円 《衛生費》
 新型コロナウイルスワクチンの接種により、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図る。

- ◆ **PCR検体採取事業費** 【継続】 206万8千円 《衛生費》
 桑名医師会及び桑名保健所と協力して、新型コロナウイルス感染症のPCR検査の検体採取を行うことにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と地域の医療機関の負担軽減を図る。

- ◆ **消防庁舎等再編整備アドバイザー業務実施事業費** 【継続】 399万1千円 《消防費》
 公民連携を活用した、消防本部の高台移転を含む消防庁舎等再編整備に向けた民間事業者の選定及び基本設計等に係る支援業務を委託する。

- ◆ **車両購入費（長島木曾岬分署）** 【継続】 2億2,870万7千円 《消防費》
 災害活動に万全を期すため、桑名市消防署長島木曾岬分署配備の30m級先端屈折式はしご付消防自動車を更新する。

- ◆ **戸別受信機整備費** 【継続】 7,093万3千円 《消防費》
災害時や災害が発生する恐れがあるとき、迅速かつ的確に市民に情報を伝達することは極めて重要であり、本市においても浸水想定区域にデジタル防災行政無線（同報系）を整備した。しかしながら、天候や建物の構造等により聞こえづらいなどの課題もあることから、必要とされる方に対して戸別受信機としての防災ラジオを配布する。

- ◆ **津波避難施設整備費** 【継続】 4億5,445万5千円 《消防費》
南海トラフ発生時の津波浸水想定等を踏まえ、地理的に津波からの避難が極めて困難となることが想定される長島町伊曾島地区に、一時的な津波避難施設となる津波避難誘導デッキを整備する。

3 こどもを3人育てられるまち

- ◆ **待機児童対策事業費補助金** 【継続】 1億94万円 《民生費》
待機児童対策として、私立保育園の低年齢児保育等に事業補助を行い、保育需要の高い0歳児、1歳児の受け入れ及び障害児の受け入れの拡大を図る。

- ◆ **私立保育園整備補助金** 【継続】 2億7,262万6千円 《民生費》
保育の供給量を確保し、待機児童を出さない保育環境を整備することを目的とし、私立保育園の施設整備等に対し補助を行う。

- ◆ **医療的ケア児地域生活支援事業費** 【継続】 292万6千円 《民生費》
医療的ケア児が医療機関においてショートステイまたはレスパイト入院した際に、保護者に代わり付き添い介助を行う者を派遣し、保護者のレスパイトを実施することで、在宅生活を支援する。

- ◆ **地域で支える子ども見守り応援事業費** 【新規】 473万6千円 《民生費》
市内の子ども支援団体が、宅食、フードパントリーを行うことで、困窮世帯の経済的支援を行うと共に、子どもが安全安心に生活できているか等についての見守り支援を行う。また、SNSを活用した寄り添い・傾聴、食事の提供、遊び、学習、資格取得等を通じた居場所を子どもに提供する。

- ◆ **家庭での食育推進とパパママ家事時短事業費** 【継続】 79万9千円 《民生費》
家庭での食育の推進及び保護者の家事の時間を軽減するため、夕方、新たに調理したおかずを保護者に予約制で提供する。

- ◆ **3歳児健診眼科スクリーニング検査事業費** 【新規】 283万円 《衛生費》
3歳児健康診査の眼科検診において屈折検査を実施し、遠視や乱視などの程度や斜視の有無などを調べ、弱視のリスクを判定し、視覚異常を早期に発見、適切な治療につなげる。

- ◆ **多胎妊産婦等支援事業費** 【新規】 103 万円 《衛生費》
 多胎家庭に対する家事、育児のサポート等により、多胎妊産婦の身体的、精神的な負担の軽減を図ることで、多胎家庭の育児困難を緩和し、孤立化を予防する。

- ◆ **分身ロボット活用特別支援事業費** 【継続】 60 万円 《教育費》
 肢体不自由児等の特別な支援を必要とする児童生徒が、自宅療養や入院等の際に学習機会を損なわないよう、分身ロボット OriHime を導入することで、自宅や病院にいながら
 在籍学級の授業への参加や、友だちとの交流を可能とする。

- ◆ **教育 ICT 環境整備事業費** 【継続】 3 億 933 万 3 千円 《教育費》
 新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力に定義された情報活用能力を、桑名の子ども達が 9 年間の義務教育を通して身に付けられるようにするため、市内小中学校における ICT 環境の整備を継続的に行っていく。

- ◆ **多度地区小中一貫校整備事業費** 【継続】 5 億 7,719 万円 《教育費》
 本市における第一番目の小中一貫校として、計画地の立地や優れた眺望を生かした「丘の上の学び舎」としての整備を進め、義務教育 9 年間を見通した子どもたちの「学び」と「育ち」を支える学習環境を整備する。

- ◆ **施設改修事業費（中学校費）** 【新規】 593 万 4 千円 《教育費》
 スロープ等整備による段差解消、要配慮児童生徒等が在籍する学校にエレベータの設置など、バリアフリー化に対応した施設整備を行う。

4 世界に向けて開かれたまち

- ◆ **多文化共生推進事業費** 【継続】 347 万円 《総務費》
 外国人住民が増加している中、多言語電話通訳サービスや多文化共生イベントを実施することで、外国人も含めた誰にとっても住みやすいまちづくりを進める。

- ◆ **英語教育プラン推進事業費** 【継続】 403 万 8 千円 《教育費》
 児童生徒のグローバル社会で通用するコミュニケーション力を育成するため、小中学校での外国語の授業を支援する体制を整える。

5 地理的優位性を活かした元気なまち

- ◆ **次世代モビリティサービス推進事業費** 【継続】 2,500 万円 《総務費》
 社会情勢の変化に対応するため、従来のシステムに代わる新たな交通ネットワークのあり方や、将来的な自動運転の実現可能性の検討を行うための実証実験を実施する。

- ◆ **北勢線運営支援事業費** 【継続】 1億6,401万9千円 《総務費》
北勢線を運営する三岐鉄道株式会社に対して運営費の支援を行うことで、沿線住民の交通手段を確保する。

- ◆ **コミュニティバス運行事業費** 【継続】 1億5,636万9千円 《総務費》
車を利用できない方や今後運転が困難になる高齢者などの移動手手段を確保するため、既存公共交通の補完的な役割を果たすコミュニティバスの運行等を行う。

- ◆ **養老線運営支援事業費** 【継続】 1億4,100万3千円 《総務費》
養老線の第三種鉄道事業者である一般社団法人養老線管理機構に対し運営費負担金を支出し、沿線住民の交通手段を確保する。

- ◆ **スマートインターチェンジ推進事業費** 【継続】 1,800万円 《土木費》
都市計画マスタープランに位置づけられた、多度地域の南部やインターチェンジ周辺の産業誘導ゾーンへの企業立地をサポートする広域交通網の充実や都市内幹線道路の整備を図る。

- ◆ **道路防災対策事業費** 【新規】 3,410万円 《土木費》
災害の発生を予防し、または災害の拡大を防止することを目的に、市内各所における道路施設の整備を行う。

- ◆ **稗田地区自然災害対策事業費** 【新規】 6,000万円 《土木費》
県事業による員弁川改修工事と並行して、災害の発生を予防し、また災害の拡大を防止する事を目的に堤防下道路にあたる市道稗田4号線について、排水構造物等の整備を行う。

- ◆ **橋梁長寿命化対策事業費** 【継続】 1億2,950万円 《土木費》
橋梁の維持管理において、従来の事後的補修から致命的な損傷が顕在化する前に計画的な補修及び耐震補強を実施し、長寿命化を図る。

- ◆ **桑名北部東員線等** 【新規】 2,100万円 《土木費》
スマートインターチェンジ設置に向けたアクセス道路として、桑名北部東員線の未整備区間である市道坂井多度線～国道258号の整備を行う。また、民間区画整理事業に伴う桑名北部東員線及び大山田播磨線の用地を公共施設管理者負担金により取得する。

- ◆ **桑名駅周辺施設整備事業費** 【継続】 2,032万4千円 《土木費》
桑名駅自由通路の整備に合わせて、民間事業者の提案をいただきながら、桑名駅周辺を再編することにより、都市機能の集積を図り、利便性・安全性の向上とともに賑わいと活力ある拠点づくりを進める。

- ◆ **土地区画整備事業費** 【継続】 21 億 8,718 万 8 千円 《土木費》
桑名駅西側地域において、木造密集市街地が連続するなど、早急な都市基盤整備が望まれる地域となっているため、道路や駅前広場、下水道等のインフラを整備し、駅西口への円滑なアクセスと住環境の改善を図る。

6 桑名をまちごと『ブランド』に

- ◆ **ブランド推進事業費** 【継続】 558 万 5 千円 《総務費》
本市の地域資源の魅力を経験する「桑名ほんぱく」を実施し、桑名に対する愛着や誇りを高めることで、桑名を訪れたい、住みたい、住み続けたいと思う人を増やしていくほか、地方創生推進交付金事業や忠勝プロジェクトを通してブランド力向上を図る。
- ◆ **パブリックリレーション事業費** 【継続】 759 万 1 千円 《総務費》
マスメディアに幅広く市の魅力を情報発信する等プロモーション活動を行い、紙面・テレビ番組等のメディアに露出させることで、市の認知度・イメージ向上を図る。
- ◆ **有害鳥獣等対策事業費** 【継続】 1,878 万 3 千円 《農林水産業費》
野生獣等による農作物の被害を軽減するため、野生獣等の追払いや捕獲・駆除を行う。
- ◆ **竹資源循環創出推進事業費** 【継続】 1,340 万 6 千円 《農林水産業費》
桑名の竹を活用した事業を産官学で推進することで、放置竹林の解消を図るとともに地域内循環を促進し、SDGs の目標・理念に基づく未来に向けた農業・経済活動を推進する。
- ◆ **湛水防除事業費** 【継続】 3,940 万円 《農林水産業費》
農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等を湛水被害から未然に防止するため排水機場などの新設又は改修や遊水池に堆積した土砂の排土を行う。
- ◆ **ため池等整備事業費** 【継続】 4,715 万円 《農林水産業費》
農業用ため池の決壊・漏水による、農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等の洪水被害を未然に防止するための改修や堆積土砂の排土を行う。
- ◆ **企業等誘致奨励金** 【継続】 4,749 万 9 千円 《商工費》
本市の産業構造の高度化及び多様化を促進するとともに、企業の振興、産業の発展、市勢の進展を図るため、企業へ立地奨励金を交付する。
- ◆ **桑名水郷花火大会新型コロナウイルス対策事業費** 【新規】 1,179 万円 《商工費》
桑名水郷花火大会の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症により過去2年にわたり中止となったことに鑑み、観光客の皆様へ安全・安心に花火大会を楽しんでいただけるよう、コロナ対策を実施する。

- ◆ **観光誘客推進事業費** 【継続】 435 万円 《商工費》
 コロナ禍で落ち込んだ市民の心を明るくし、新しい桑名駅前を活性化させ、六華苑等のある住吉地区等に観光客を誘導するため、観光協会や地域の経済団体等と連携し、街路樹等を活用してイルミネーションを実施する。

- ◆ **観光魅力創出事業費** 【新規】 1,307 万 5 千円 《商工費》
 コロナ禍における観光振興を進めるため、本市と桑名市観光協会と株式会社 JTB とで連携し、新たな時代に対応した戦略的施策を実施していく。また、令和 3 年度に現在の株式会社 ZOZO 創業者の前澤友作氏から寄付をいただいたことから、その財源を活用し、市の観光資源を活用したツアーを造成する。

- ◆ **総合運動公園** 【継続】 1,100 万円 《土木費》
 総合運動公園について、「緑の中のスポーツ・レクリエーション」をコンセプトとして、緑豊かな自然環境を活かし、多様な利用ができる公園づくりを目指し整備を行う。

- ◆ **文化財保存事業費** 【継続】 5,283 万 7 千円 《教育費》
 国指定文化財である諸戸家住宅、諸戸氏庭園、旧諸戸氏庭園及びユネスコ無形文化遺産の石取祭の祭車について、文化財を保存・活用していくために改修事業を実施する。

7 納税者の視点で次の世代に責任ある財政に

- ◆ **行政事務デジタル化推進事業費** 【継続】 1,058 万 4 千円 《総務費》
 行政運営の DX として、WEB 会議やテレワーク環境の整備、RPA や AI-OCR などの ICT 技術の活用による業務効率化を進める。

- ◆ **窓口サービス等デジタル化推進事業費** 【新規】 715 万 7 千円 《総務費》
 市民サービスの DX として、転入や転出等の際に、事前に必要な手続きや持参物を把握できる「手続きガイド」を導入するとともに、オンライン申請や窓口キャッシュレス化等を推進する。

- ◆ **粗大ごみ収集オンライン申請推進事業費** 【新規】 430 万 3 千円 《衛生費》
 粗大ごみの受付は電話予約のみであるが、新たに WEB からの粗大ごみ収集申込を可能とすることで、24 時間 365 日いつでも申込ができ、キャッシュレス決済にも対応することで、市民の利便性向上を図る。

8 その他

- ◆ **市議会議員選挙費** 【臨時】 8,330 万 7 千円 《総務費》
 公職選挙法に基づき、桑名市議会議員選挙が公平・公正に行われるよう選挙の適正な管理執行に努めるとともに、選挙の重要性を啓発し、投票率の向上を図る。

＜ 財政基盤強化の種をまく予算制度 ＞

みんなで“変わる” “変える” 予算の状況

- ◆ 経常的経費では、昨年度に引き続き、従来の財政課での査定を廃止し、各部等に配分する予算枠をもとに部内調整を行いながら予算を編成するという手法をとっている。
- ◆ そして、「みんなで“変わる” “変える” 予算」として、次の17の視点をもとに各所属自らが対象事業すべてを厳密に点検して既存事業の見直しを行い、歳入予算の増加や歳出予算の削減を行った。

≪ 「みんなで“変わる” “変える” 予算」 17の視点 ≫

- ①内部事務の精査、②内部事務や事業の集約化、③体制の見直し、④手法の変更・見直し、主体・執行体制の見直し、
 ⑤委託の仕様内容、需用費等の見直し、⑥在庫等の有効活用、⑦公有財産の適正管理・戦略的活用、
 ⑧執行残（決算）額との比較、⑨計画の見直し（平準化）、⑩国・県・他市基準との比較、⑪歳入の確保、
 ⑫社会経済情勢の変化、目的の達成、⑬政策・施策への有効性、⑭公民連携の取組、
 ⑮データやICTの活用による業務の効率化、⑯民営化・委託化、⑰業務の効率化・働き方の見直し

- ◆ この見直しの効果額は、一般財源ベースで1億8,584万4千円となった。
 ⇒ この捻出した財源については、現場の実情に即した予算措置のほか、少子高齢化を背景とした社会保障関係経費の増、まちづくりへの投資などに活用する。

がんばり“見える化” 予算の状況

- ◆ 「がんばり“見える化” 予算」は、各所属が所管する事務事業について、創意工夫、新たな手法・アイデアによる歳入の増収や経費節減の成果を評価し、増収額または節減額の全部または一部を所属部署の翌年度当初予算へ還元する制度。
- ◆ 今回のがんばり“見える化” 予算では、13部署より申請があり、取組みによる効果額の総額は3,055万1千円であった。そして、各取組みを評価した結果、付与額の総額は1,141万2千円となった。
- ◆ 主な取組としては以下のとおり。

主な取組	所 属	効果額（千円）	付与額（千円）
多度山上公園における循環式トイレ設置	観光課	3,706	3,706
ペットの個別火葬を実施	環境対策課	661	529

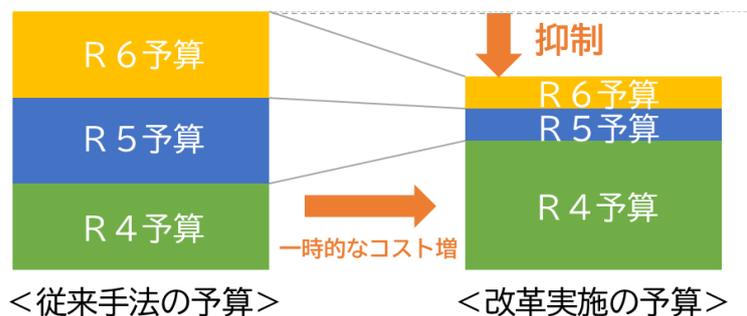
救急医療情報キットの消防・医療・介護連携による運用見直し	消防救急課・保健医療課・介護高齢課	1, 9 2 3	1, 1 5 4
地方債においてテールヘビー方式での借入方法を用いることにより償還利子を縮減	財政課	9 5 5	付与無し

- ◆ がんばり“見える化”予算付与額は、市民サービス向上や職員の働き方改革・業務効率化に資する経費の予算に優先配分することとしている。上記のがんばり“見える化”予算付与額1, 1 4 1万2千円については、各所属の意向に沿って、4 2 5万5千円を令和4年度予算に反映し、7 1 5万7千円を令和5年度予算に反映する。

“長い目で見た”改革予算の状況

- ◆ “長い目で見た”改革予算は、経常的経費について、創意工夫のアイデアを基に、一時的な経費は掛かるが、3年以内のトータルコスト（一般財源）での比較では、歳出削減（歳入増収）効果が見込まれるものを特別要求予算枠として取り扱うもの。アイデアはあるものの一時的な経費が掛かることによりそれを断念するケースを無くすため、今回創設している。

＜イメージ＞トータルコストでの比較



- ◆ 今回の“長い目で見た”改革予算では、4部署より申請があり、3年間のトータルコスト比較による効果額の総額は8 1 0万9千円であった。

主な取組	所 属	効果額（千円）
公共料金の支払いを口座振替にする「公振くん」の導入による業務効率化	会計管理室	(*) 6, 3 4 3
「美し国三重市町対抗駅伝」のウインドブレーカーの支給方法見直しによるコスト削減	生涯学習・スポーツ課	1, 4 6 4
「IoTによる予防的な見守り（冷蔵庫開閉による見守り）」導入によりコストも削減	介護高齢課	1 9 3
埋蔵文化財発掘調査におけるデジタル機器導入による委託の見直し・業務効率化	ブランド推進課	1 0 9

(*)簡易計算により算出（年間コスト削減額を「業務削減時間1, 258時間/年×労務単価2, 100円/時間」として算出）